

01 歴史展示の全体像

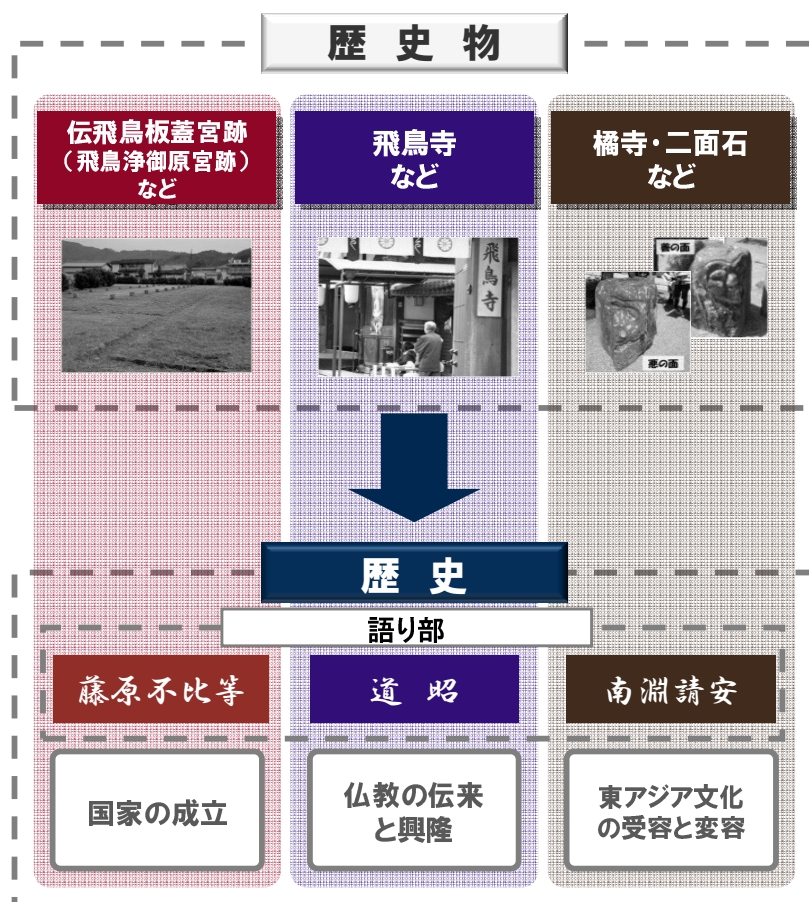
明日香における歴史展示の概要

明日香の価値と歴史展示

明日香の持つ価値は、この地において、東アジアとの関係の中で、今日に繋がる国家基盤が形成されたという歴史そのものです。

しかし、寺院建築や出土物等の「歴史物」の断片的な展示はあっても、その背景となる歴史の展示が不十分だという現実があります。このため奈良県では、「歴史物」だけでなく、歴史の意味や意義等を分かりやすく展示する取り組みを「歴史展示」という名称で新たに開始しました。

平成21年度に策定した「明日香における歴史展示等のあり方基本方針」(以下、「基本方針」という。)においては、展示する歴史の内容として、「国家の成立」、「仏教の伝来と興隆」、「東アジア文化の受容と変容」という飛鳥時代を象徴する3つのテーマを設定するとともに、それぞれにふさわしい語り部として藤原不比等、道昭、南淵請安を選定しました。



歴史展示の手法については、拠点施設と現地がネットワークされた歴史展示システムを構築します。具体的には、奈良県立万葉文化館を拠点施設とし、語り部が前述の歴史テーマを映像等によって分かりやすく説明するとともに、現地では、飛鳥京跡苑池の復原整備や寺院・遺跡等での歴史的意義の説明等に取り組んでいきます。

なお、具体的な整備を進める際には、寺院・遺跡等の所有者及び関係機関と詳細な協議を行い、計画の実現を図っていきます。

「歴史展示」を開始

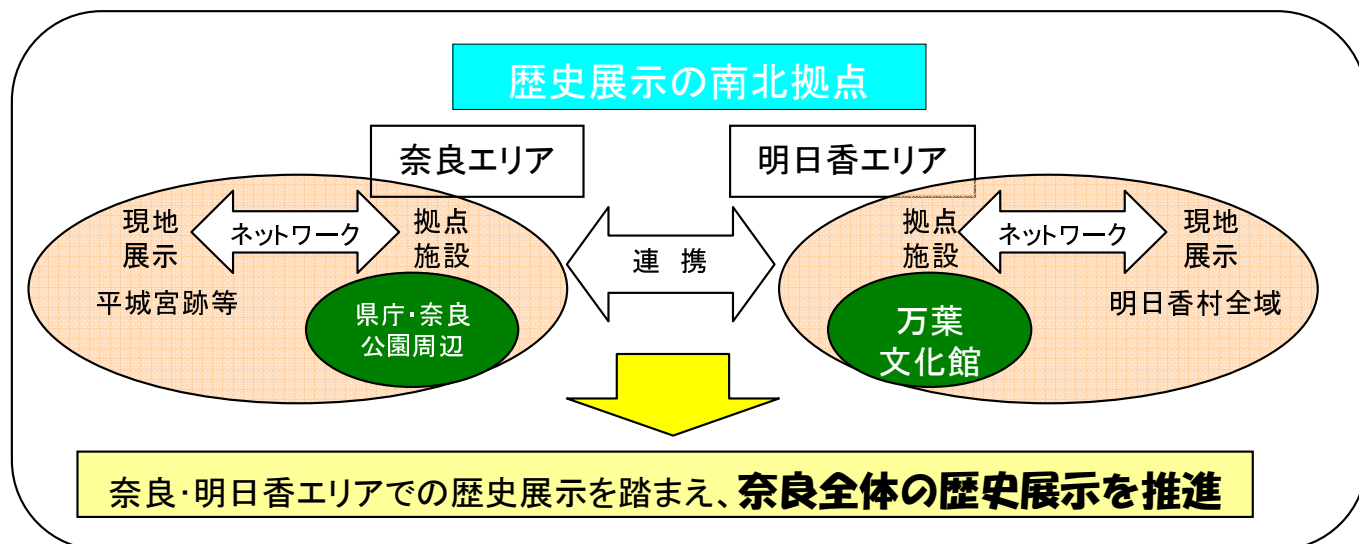
歴史展示の目的

明日香において、国家としての基本的枠組みが形作られ、以来、日本は今日に至る歴史を刻んできました。

日本のはじまりである明日香において歴史展示を進めることは、現代に繋がる知恵を学ぶことであり、日本とはどういう国か、日本人とは何者であるのかを自問する道程でもあります。

今日の日本や東アジアを取り巻くさまざまな困難や課題を克服し、日本が東アジアと一体となって発展していくには、相互理解が不可欠です。このため、日本の古代から現在に至るまでの歴史の変遷を振り返ることで、日本の新たな基軸を発見・再構築し、日本と東アジアが目指すべき進路を考察する必要があります。

奈良県全体での歴史展示を推進するにあたり、明日香エリアと奈良エリア(奈良市域)を南北拠点と位置づけました。そして明日香エリアを皮切りに、奈良エリア、奈良県全体へと歴史展示を展開し、奈良を訪れる方に感動を与えたいと考えています。



中南和観光の拠点となる明日香

平成22年(2010年)に開催された平城遷都1300年祭においては、「奈良歴史探訪回廊」として、県内各地の歴史、文化、自然等の様々な素材を活用し、「巡る奈良」をキーワードに、「宮」の変遷や世界遺産をはじめ、県内各地で地域の特性を生かしたイベント等を行いました。こうした平城遷都1300年祭に関連する事業は平成22年だけのものですが、大切なのはその後の取り組みです。

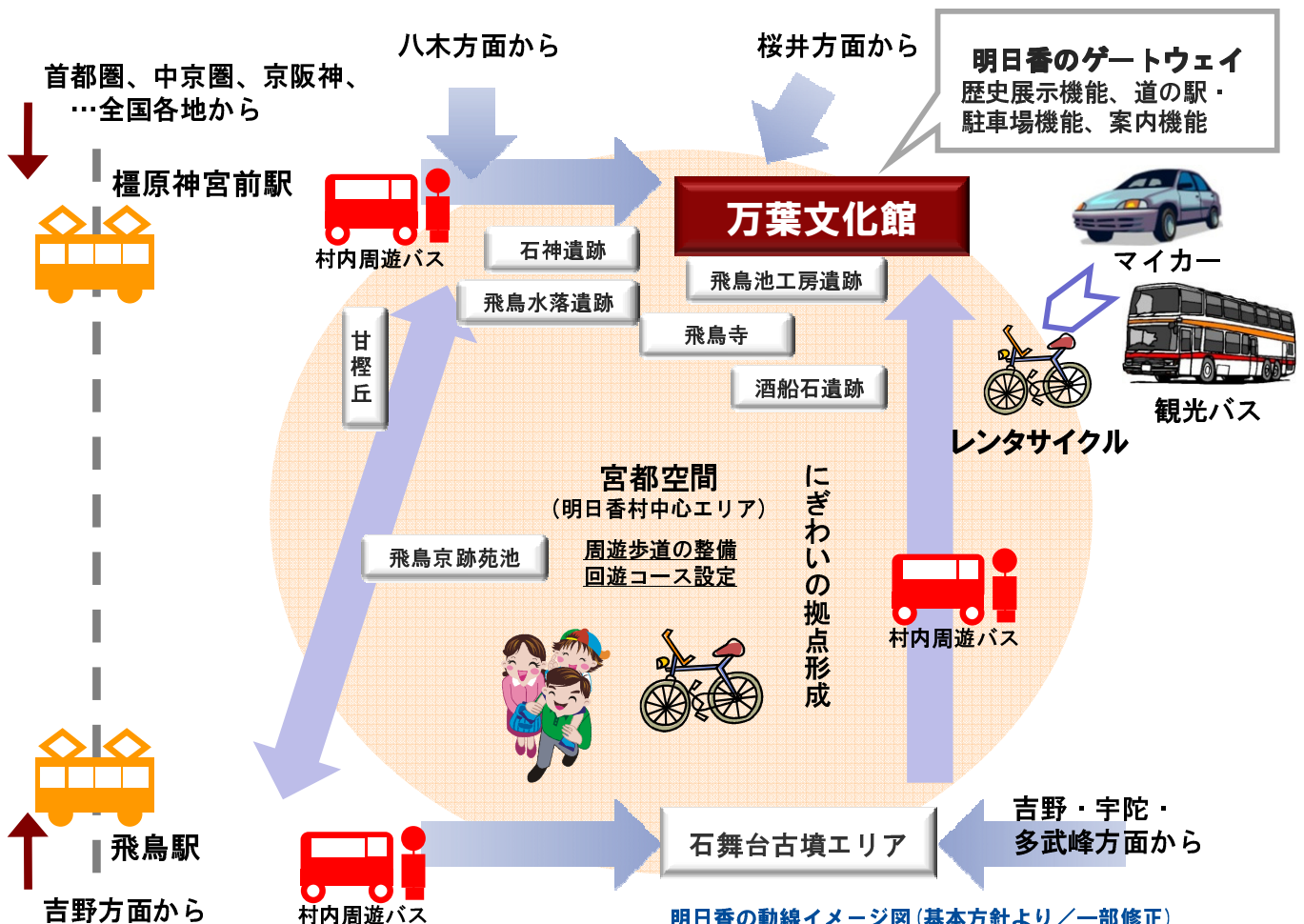
中南和においては、明日香エリアを歴史展示の拠点のみならず中南和観光の拠点としても位置づけ、県内周遊観光ネットワークの強化を図っていきます。

来訪者に明日香の歴史的価値や東アジアとのゆかりを学んでいただき、この地域への誘客と理解を高め、明日香に対する高イメージを形成することを目指すとともに、明日香だけでなく、広く中南和への誘客を図るための情報発信も行い、中南和の地域振興と地域活性化に取り組めます。

明日香村の活性化

明日香における歴史展示の推進は、行政・学術機関・村民・地元産業等が連携して、ハード面(地域整備)やソフト面(プログラム開発など)により、地域の環境形成や地域活性化を進めていく、まさに「まちづくり」事業そのものであると言えます。

こうした事業の推進によって生み出される「地域における新たな産業」や「村民が参加するスモールビジネス」等に対しては、それらをサポートする施策等を検討していきます。



検討の経緯

平成21年度に策定した基本方針を踏まえ、明日香における歴史展示の推進を図るため、「歴史展示力強化に向けた有識者会議」を開催し、歴史展示実施に向けた検討を行いました。

歴史展示力強化に向けた有識者会議

■第1回会議 平成22年8月25日

議題：万葉文化館の機能、回遊コースの設定、テーマ及び人物等

■第2回会議 平成22年11月2日

議題：ストーリー展開のあり方、万葉文化館での歴史展示等

(敬称略)

有識者

木下正史	(東京学芸大学特任教授)
菅谷文則	(奈良県立橿原考古学研究所所長)
千田稔	(奈良県立図書情報館館長)
田辺征夫	(奈良文化財研究所所長)
寺川眞知夫	(万葉古代学研究所所長)

オブザーバー

奈良文化財研究所

杉山洋 (国際遺跡研究室長)

国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所

舟久保敏 (国営飛鳥歴史公園事務所所長)

明日香村

藤田尚 (会計管理者 政策調整課長)

北浦敬教 (文化財課長)

財団法人飛鳥保存財団

舞鶴正治 (常務理事)

奈良県

荒井正吾 (奈良県知事)

影山清 (奈良県地域振興部長)